

マーケットの動き（2021年2月16日～2月19日）

先週の為替市場は、米ドルは対円で上昇（円安）しました。

為替市場において米ドルの下落が進行しているものの、通貨によってパフォーマンスの強弱がはっきりと分かれている状況が継続しています。主要通貨では、豪ドルや英ポンドは対米ドルでの上昇が目立つ一方、日本円やスイスフランは対米ドルで下落しました。

ユーロは、対円・対ドルともに上昇しました。

投資環境見通し（2021年2月）

円に対して、米ドル、ユーロとも一進一退の動きを予想

米ドル：米国の追加経済対策に関しては成立に向けて進展するとみられるものの、成立時期の遅れや規模が当初の想定を下回る可能性が残ることに加え、新型コロナウイルスを巡りワクチン接種が始まっているものの感染再拡大に対する警戒感が残ることから、円に対して一進一退の動きになるとみています。

ユーロ：ECB総裁は今年の域内景気に対して楽観的な見方を示していますが、新型コロナウイルスの感染再拡大に対する警戒感も残ることから、円に対して一進一退の動きになるとみています。

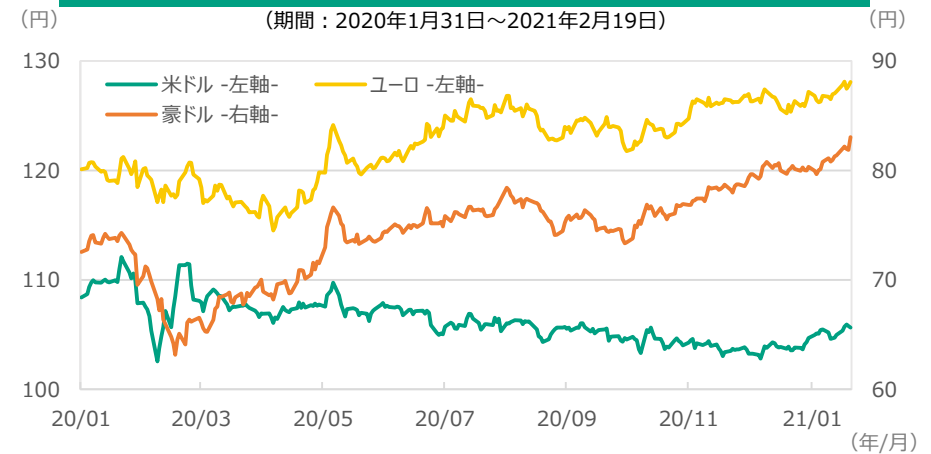
	2月19日	変動幅（円）			
		前週比	1ヵ月前比	6ヵ月前比	1年前比
米ドル/円	105.63	0.66	1.72	▲0.02	▲5.32
ユーロ/円	128.10	0.88	2.09	2.37	8.35

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

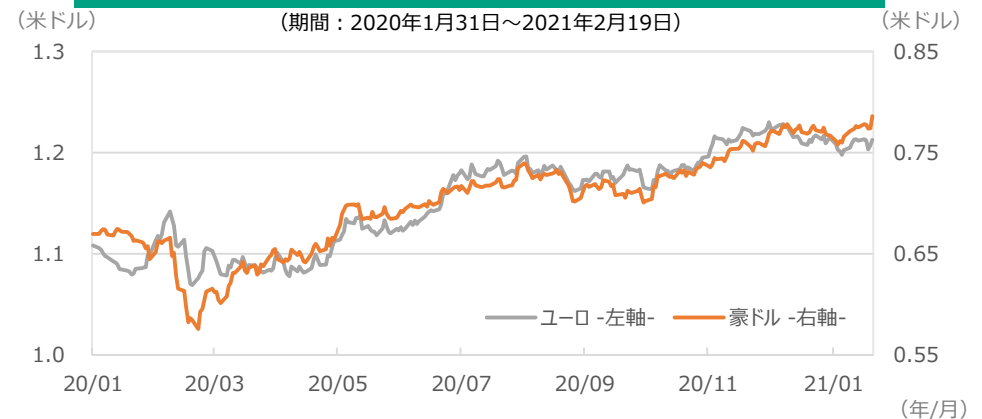
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202102_outlook.pdf

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>